

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 安濃川水系安濃川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	安濃川水系安濃川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する安濃川水系安濃川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市高洲町～芸濃町雲林院 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度（5年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m <sup>3</sup> ) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m<sup>2</sup>)書き て記載</small>	令和2年度	3,300m <sup>3</sup>		第2種建設発生土 <small>※目視による見込み。</small>
	令和3年度	9,000m <sup>3</sup>		
	令和4年度	9,000m <sup>3</sup>		
	令和5年度	9,000m <sup>3</sup>		
	令和6年度	7,700m <sup>3</sup>		
	計	38,000m <sup>3</sup>		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	20,000	20,000	0
	令和3年度	91,000	91,000	0
	令和4年度	60,000	60,000	0
	令和5年度	135,000	135,000	0
	令和6年度	60,000	60,000	0
	計	366,000	366,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安濃川水系安濃川は津市中央部に位置し流路延長23.7kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・安濃川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は38千m<sup>3</sup>であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> <li>・令和5年現在の堆積量は約7.7千m<sup>3</sup>である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度～令和6年度の5年間で、38千m<sup>3</sup>の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。</li> </ul>			
河道の状態把握	安濃川には、上流部に一色水位観測所（津市一色町）、都市部は観音寺水位観測所（津市観音寺町）において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所（安濃ダム、荒木、一色）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的な年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 安濃川水系美濃屋川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	安濃川水系美濃屋川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する安濃川水系美濃屋川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市河辺町～安濃町太田 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度（5年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)  <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載</small>	令和2年度	160m3		第2種建設発生土  <small>※目視による見込み。</small>
	令和3年度	100m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	0m3		
	計	260m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	18,000	18,000	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	19,000	19,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安濃川水系美濃屋川は津市中央部に位置し流路延長9.05kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・美濃屋川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は0.56km3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> <li>・令和5年現在の堆積量は約300m3である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度から令和6年度で、0.26km3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。</li> </ul>			
河道の状態把握	美濃屋川は長岡水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川傍傍の雨量観測所（荒木、一色）から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 雲出川水系大村川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系大村川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する雲出川水系大村川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市白山町南出～白山町上ノ村 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度（5年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m <sup>3</sup> ) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m<sup>2</sup>)書き て記載</small>	令和2年度	400m <sup>3</sup>		第2種建設発生土 <small>※目視による見込み。</small>
	令和3年度	600m <sup>3</sup>		
	令和4年度	500m <sup>3</sup>		
	令和5年度	1,000m <sup>3</sup>		
	令和6年度	0m <sup>3</sup>		
	計	2,500m <sup>3</sup>		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	10,000	10,000	0
	令和3年度	10,000	10,000	0
	令和4年度	5,000	5,000	0
	令和5年度	5,000	5,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	30,000	30,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲出川水系大村川は津市南部に位置し流路延長11.6kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・大村川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は5.3千m<sup>3</sup>であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> <li>・令和5年現在の堆積量は約3.8千m<sup>3</sup>である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度～令和6年度の5年間で、2.5千m<sup>3</sup>の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。</li> </ul>			
河道の状態把握	大村川は大仰水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（井関）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系長野川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系長野川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する雲出川水系長野川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市庄田町～美里町 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	-		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	5,000m3		
	令和4年度	5,000m3		
	令和5年度	5,000m3		
	令和6年度	3,500m3		
	計	18,500m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	-	-	0
	令和3年度	60,000	60,000	0
	令和4年度	135,000	135,000	0
	令和5年度	100,000	100,000	0
	令和6年度	110,000	110,000	0
	計	405,000	405,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系長野川は津市南部に位置し流路延長12.7kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・長野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は18.5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約3.5千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、18.5千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	長野川は下稲葉水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所 (下稲葉) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系弁天川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系弁天川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する雲出川水系弁天川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市白山町川口 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和4年度（3年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	2,000m3		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	4,000m3		
	令和4年度	1,500m3		
	令和5年度	-		
	令和6年度	0m3		
	計	7,500m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	20,000	20,000	0
	令和3年度	50,000	50,000	0
	令和4年度	20,000	20,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	90,000	90,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系弁天川は津市南部に位置し流路延長3.7kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・弁天川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は8千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約500m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和4年度の3年間で、7.5千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	弁天川は竹原水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（掛の脇）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 岩田川水系岩田川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	岩田川水系岩田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する岩田川水系岩田川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市港町～片田町 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度（5年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	400m3		第4種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	4,000m3		
	令和4年度	4,000m3		
	令和5年度	4,000m3		
	令和6年度	0m3		
	計	12,400m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	12,000	12,000	0
	令和3年度	100,000	100,000	0
	令和4年度	100,000	100,000	0
	令和5年度	75,000	75,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	287,000	287,000	0
事業の必要性、 緊急性	・岩田川水系岩田川は津市中央部に位置し流路延長11.7kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・岩田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は16千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約7.6千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、12.4千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	岩田川には、上流部に野田水位観測所（津市野田）、下流部は下村橋危機管理型水位計（津市美川町）において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所（片田）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 中ノ川水系中ノ川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	中ノ川水系中ノ川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する中ノ川水系中ノ川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市河芸町東千里～芸濃町楠原 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載</small>	令和2年度	-		第2種建設発生土 <small>※目視による見込み。</small>
	令和3年度	1,800m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	2,700m3		
	令和6年度	0m3		
	計	4,500m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	-	-	0
	令和3年度	30,000	30,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	15,000	15,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	45,000	45,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中ノ川水系中ノ川は津市北部に位置し流路延長5.6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・中ノ川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は6.6千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> <li>・令和5年現在の堆積量は約4.8千m3である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度～令和6年度の4年間で、4.5千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。</li> </ul>			
河道の状態把握	中ノ川には、新玉橋危機管理型水位計（津市芸濃町楠原）において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所（津市河芸町久知野）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 田中川水系田中川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	田中川水系田中川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する田中川水系田中川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市河芸町上野～河芸町三行 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度（5年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)  <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載</small>	令和2年度	200m3		第4種建設発生土  <small>※目視による見込み。</small>
	令和3年度	2,000m3		
	令和4年度	2,000m3		
	令和5年度	2,000m3		
	令和6年度	1,800m3		
	計	8,000m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	3,000	3,000	0
	令和3年度	67,000	67,000	0
	令和4年度	100,000	100,000	0
	令和5年度	100,000	100,000	0
	令和6年度	70,000	70,000	0
	計	340,000	340,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田中川水系田中川は津市北部に位置し流路延長5.3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・田中川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は8千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> <li>・令和5年現在の堆積量は約3.8千m3である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度～令和6年度の5年間で、8千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。</li> </ul>			
河道の状態把握	田中川には、上流部に久知野水位観測所（津市河芸町久知野）、下流部は大蔵橋危機管理型水位計（津市河芸町上野）において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所（津市河芸町久知野）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 志登茂川水系志登茂川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	志登茂川水系志登茂川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する志登茂川水系志登茂川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所: 三重県津市島崎町~高野尾 【別図参照】			
実施予定期間	令和6年度(1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	0m3		
	計	0m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	0	0	0
事業の必要性、 緊急性	・志登茂川水系志登茂川は津市北部に位置し流路延長14.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・志登茂川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は60千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約60.0千m3である。			
浚渫目標	・令和6年度に、0千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	志登茂川には、上流部に今井水位観測所(津市一身田豊野)、下流部は一身田平野危機管理型水位計(津市河一身田平野)において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の今井雨量観測所(津市一身田豊野)から水防活動や洪水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 志登茂川水系前田川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	志登茂川水系前田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する志登茂川水系志登茂川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所: 三重県津市大里小野田町~大里山室町 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度~令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	100m3		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	100m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	0m3		
	計	200m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	1,000	1,000	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	2,000	2,000	0
事業の必要性、 緊急性	・志登茂川水系前田川は津市北部に位置し流路延長6.4kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・前田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は5百m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約3百m3である。			
浚渫目標	・令和2年度~令和6年度の5年間で、2百m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	前田川には、下流の今井水位観測所(津市一身田豊野)において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の今井雨量観測所(津市一身田豊野)から水防活動や洪水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 安濃川水系穴倉川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	安濃川水系穴倉川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する安濃川水系穴倉川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所: 三重県津市小舟~津市美里町家所 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度~令和6年度(4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	—		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	500m3		
	令和4年度	1000m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	6,000m3		
	計	7,500m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	5,000	5,000	0
	令和4年度	10,000	10,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	55,000	55,000	0
	計	70,000	70,000	0
事業の必要性、 緊急性	・安濃川水系穴倉川は津市中央部に位置し流路延長7.7kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・穴倉川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は20千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約18.5千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度~令和6年度の4年間で、7.5千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	穴倉川は、上流部に南神山水位観測所(津市安濃町南神山)、下流(安濃川合流点下流)に一色水位観測所(津市一色町)において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所(南神山、一色)から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握は、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 相川水系相川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	相川水系相川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する相川水系相川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市藤方～久居相川町 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	—		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	100m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	0m3		
	計	100m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・相川水系相川は津市中央部に位置し流路延長6.0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・相川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は0.4千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約0.3千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、0.4千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	相川は藤方水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（藤方）から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 相川水系天神川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	相川水系天神川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する相川水系天神川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市高茶屋 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	—		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	100m3		
	令和4年度	0		
	令和5年度	3,000m3		
	令和6年度	0m3		
	計	3100m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	40,000	40,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	41,000	41,000	0
事業の必要性、 緊急性	・相川水系天神川は津市中央部に位置し流路延長2.9kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・天神川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は3.5千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約3.4千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、3.5千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	天神川は藤方水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（藤方）から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的な年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系榑原川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系榑原川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する雲出川水系榑原川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市中村町～榑原町 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	—		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	1,000m3		
	令和4年度	9,000m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	5,000m3		
	計	15,000m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	10,000	10,000	0
	令和4年度	50,000	50,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	40,000	40,000	0
	計	100,000	100,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系榑原川は津市中央部に位置し流路延長10.6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・榑原川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は40千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約30千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、15千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	榑原川は榑原水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（榑原）から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系赤川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系赤川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する雲出川水系赤川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市須ヶ瀬町 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	—		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	600m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	0m3		
	計	600m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	5,000	5,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	5,000	5,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系赤川は津市中央部に位置し流路延長3.3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・赤川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は3.6千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約3.0千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、0.6千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	赤川は近傍の須賀瀬橋水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（須賀瀬橋）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系垣内川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系垣内川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する雲出川水系垣内川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市白山町垣内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	—		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	300m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	0m3		
	計	300m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	3,000	3,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	3,000	3,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系垣内川は津市中央部に位置し流路延長4.6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・垣内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は2千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.7千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和5年度の3年間で、2千m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	垣内川は近傍の須賀瀬橋水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（須賀瀬橋）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的な年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系八壺川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系八壺川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する雲出川水系八壺川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市稲葉町 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	-		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	500m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	0m3		
	計	500m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	5,000	5,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	5,000	5,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系八壺川は津市中央部に位置し流路延長1.3kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・八壺川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は3千m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約2.5千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、500m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	八壺川は近傍の下稲葉水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（下稲葉）から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系八対野川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系八対野川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する雲出川水系八対野川の堆積土砂掘削及び樹木伐採を行うもの。 施工箇所：三重県津市白山町八対野 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	—		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	100m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	400m3		
	令和6年度	0m3		
	計	500m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	5,000	5,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	5,000	5,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	10,000	10,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系八対野川は津市中央部に位置し流路延長5.4kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・八対野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は500m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約400m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和4年度の2年間で、500m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	八対野川は近傍の竹原水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（竹原）から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的な年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系桂畑川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系桂畑川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する雲出川水系桂畑川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：三重県津市美里町 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	-		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	500m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	1,000m3		
	計	1,500m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	5,000	5,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	10,000	10,000	0
	計	15,000	15,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系桂畑川は津市中央部に位置し流路延長6.2kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・桂畑川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は1千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1,000m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、1,500m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	桂畑川は近傍の下稲葉水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所 (下稲葉) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 雲出川水系三ヶ野川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	雲出川水系三ヶ野川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する雲出川水系三ヶ野川の堆積土砂掘削及び樹木伐採を行うもの。 施工箇所：三重県津市白山町三ヶ野 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	—		第2種建設発生土 ※目視による見込み。
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	1,000m3		
	令和6年度	0m3		
	計	1,000m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	20,000	20,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	20,000	20,000	0
事業の必要性、 緊急性	・雲出川水系三ヶ野川は津市中央部に位置し流路延長5.0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・三ヶ野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は1,000m3であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.0千m3である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、1,000m3の堆積土砂掘削を行い、現況河道の流下能力を維持する。			
河道の状態把握	三ヶ野川は近傍の竹原水位観測所において水位の常時観測が行われている。 また、河川近傍の雨量観測所（竹原）から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的な年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			